

› “LIXILは創造力を発揮し、新しいアイデアを形にすることができる場所です。サポート体制が整っており、各自がプロジェクトを主導し、より良い選択を行うことができる環境があります。”

トビアス・ハイネ

2022年 - 現在:

Fittings事業 商品研究・開発部門 シャワー担当 リーダー





2022年 - 現在

LIXIL

Fittings事業 商品研究・開発部門 シャワー担当
リーダー

2018年 - 2022年

自動車業界

購買部門 副チームリーダー

2011年 - 2018年

自動車業界

先進工学 電子部門

2009年 - 2011年

医療業界

製品開発・工業デザイン部門

トビアス・ハイネ

2022年 - 現在:

Fittings事業 商品研究・開発部門
シャワー担当 リーダー

なぜLIXILに入社しようと思ったのですか？

私は2013年にLIXILに入社したのですが、それまでは外資系のグローバル企業に勤務していました。外資系企業は経営も社内文化も日本企業とは異なる点が多くあります。私は、米国企業のAPAC (アジア太平洋) 地域の一員になるよりも、本社での仕事に挑戦し、新しい経験を積みたいと考えていました。

LIXILに入社したことで、自身が求めていた機会を得ることができました。それは、日本の文化、信念、価値観を基盤としたブランドを育て世界中の消費者に紹介するという仕事です。外資系企業のような海外のブランドを日本に導入するのではなく、日本から世界に向けて事業を展開していくことが可能になりました。

その後、GROHEとAmerican Standardの買収により、私たちは真のグローバル企業への転換を加速させてきました。私たちが培ってきた数々のイノベーション、多種多様な商品構成、そして高度な技術は、現在、世界中の様々なブランドを通じてお客さまに提供されています。

LIXILでどのような仕事をしてきたのですか？

入社当初は新しい企業文化に慣れると同時に、いくつかのプロジェクトに関わっていたため、学ぶべきことがとても多くて大変でした。しかし、プロジェクトに参加することで、チームの垣根を超えた協働や同僚たちからのサポートを受けることができました。困った時には、従業員同士のネットワークに頼ることができ、それが支えになって、私は多くのアイデアを開発し、自分が誇れる価値を生み出すことができたと思っています。

日々の業務について教えてください。

私は、LIXILの商品の研究・開発部門の一員で、新商品の設計も担当しています。プロダクトデザインや商品のカテゴリ管理など、複数の関連部門と密接に連携しながら業務を進めています。

私の所属するチームでは、新しい技術、素材、デザインやユーザーからのフィードバックを反映した新商品や改良型システムを取り入れた新しい商品ポートフォリオづくりに取り組んでいます。また、トレンドやニーズを先取りしながら、省エネや節水に注力した機器の開発も担当しています。例えば、日本の先進技術を開発する部門と協力し、節水を推進し、水の消費量を削減しながら、シャワーの使用感を向上させる、新しいタイプのシャワーエンジンを開発しています。

こうした業務は、持続可能な商品を創りだし、LIXILと顧客だけでなく、社会にとっても非常に重要です。チームはユーザーに、より魅力的な商品を提供する責任を担っており、私はそれを誇りに思っています。

研究開発にはいろいろな困難がありますが、素晴らしいチャンスを開き出すこともできます。商品開発にあたって、私たちはユーザーにとってメリットになる商品の機能性、購入方法、使いやすさ等を重視しますが、それと同時に見た目の美しさ、さらにはユーザー体験を改善できるか等といった点も考慮します。

チームは多様なメンバーで構成されており、それぞれが独自のスキルや経歴を持っています。これは優れた商品とサービスを通じて、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」というLIXILのパーパスを目指すうえで、とても重要な要素です。LIXILの設立当初から在籍している従業員や新しく入社した従業員もチームにいます。一人ひとりの豊富な知識、経験、新鮮な視点が、斬新で革新的なアイデアを実現しています。

標準的なポートフォリオ商品であれ、革新的な商品であれ、LIXILのすべての商品分野にわたって、メンバーの誰もが全力で取り組んでいます。このチームには、様々な経験ができる環境だけでなく、新しいチャレンジを後押ししてくれる文化があります。仕事は常に実践的で、自分が望む働き方で課題に取り組むことができます。

従業員同士や他のチームと協力する中で、最も楽しいことは何ですか？何か特別な出来事がありましたか？

通常、新商品の開発は初期の段階からデザインチームやマーケティングチームと協力して進めます。商品のカテゴリ、デザイン、開発計画、その運営方法を世界中のチームと緊密に連携しながら決めていきます。例えば、シャワー商品に新しい技術を導入するためには、日本にあるLIXIL Water Technology (LWT)の

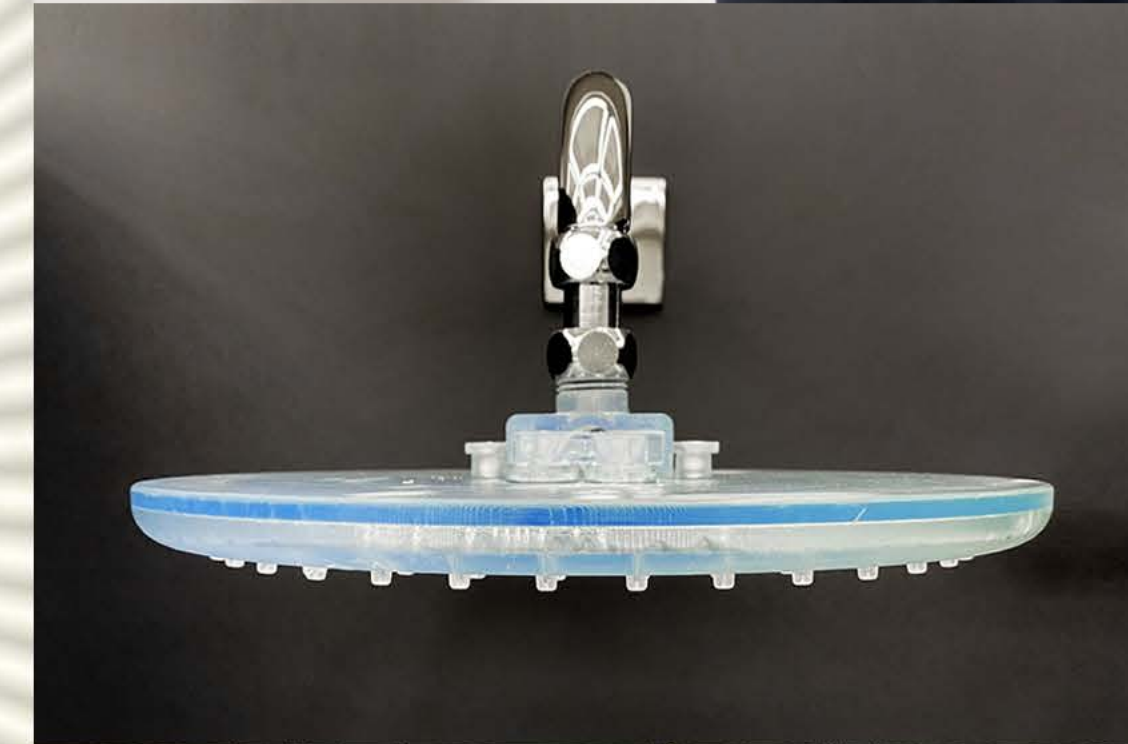
開発部門、技術研究部門、そしてR&D Americasの同僚と協力して、グローバルな視点で最善の方法を検討します。

英語には「分かち合いは思いやり (Sharing is caring)」ということわざがありますが、私たちはこのプロジェクトで得た学びや素晴らしいアイデアを自分たちのためだけに使うのではなく、他のプロジェクトを進めているチームにも共有しています。そうした思いやりの気持ちが回り回って自分たちの仕事にとってもプラスになると信じています。

最近、テクノロジーについて話し合う社内のグローバルイベントに参加しました。新しい技術やイノベーションをLIXILの商品にどのように反映したらいいか、各国からの参加者が一緒に考え、議論しました。こうした機会を通じて、異なる文化や考え方を持つ従業員が同じ目的を共有し、研究開発を成功に導くことができるのだと思います。

最近はどのような課題に向き合っていますか？

私の所属するチームでは、短い開発期間と市場環境の変動に対応しながら、高品質の優れた商品を継続的に提供することが求められています。激しい市場の変化に立ち遅れることなく、常に新しい技術を統合し、新商品を開発する機敏さが仕事に必要であり、それに対応することがチャレンジだと考え、向き合っています。





チームが困難に直面したとき、リーダーとしてどのようにアドバイスしますか？

常にチームメンバーとオープンなコミュニケーションをとるよう努めています。電話でも、対面でもどちらでもかまいません。私と話したいというメンバーには、いつでも相談に乗れるようにしておきたいと思っています。

チームのリーダーになるということは、サッカーなどのスポーツにも共通していますが、部下との信頼醸成が成功の鍵です。しっかりと結束しているサッカーチームをみるとわかるように、リーダーには人材を育てるという大切な役割もあります。リーダーに育てられた選手たちが次のリーダーになっていく。LIXILはそうした輪が広がるよう従業員を支援しています。リーダーでもあるトレーナーは普段コートの外からチームを支え、導きます。一方で、フィールドでゴールに向かうのはチームのメンバーです。最近チームで賞を受賞しましたが、まさに私たちが正しいことをし、チームで一丸となって前に進んだ結果だと感じています。

また、チームメンバーの意欲を高めるとともに、安心してキャリアの機会を考えられるようにサポートすることも心がけています。一人ひとりが自信を持って活躍してもらえるようにメンターとして励ましています。チームの一員であるという意識、そして信頼感を得ることも私にとっては重要なことです。しかし、それは双方向の関係でなければなりません。LIXILのリーダーとして、チームには「実験し、学ぶ」ことを推奨していますが、これができるのは、私がチームメンバーの能力を信頼しているからです。同様に、彼らは必要なときに私を頼れる環境づくりが大切です。

趣味など個人的なエピソードはありますか？

もともと技術分野が長く、自分でものをつくるのが好きだということもあり、私はプライベートな時間の多くを家でちょっとしたものづくりや自分の家具のデザインなどに費やしています。ものづくりをしながら家族と過ごす時間は、仕事を離れた楽しみのひとつです。息子も楽しそうにその作業に参加していますし、そこから私の仕事について多くのことを学んでいます。息子は将来、私のような仕事がしたいと言ってくれることもあり、とても嬉しく、誇らしく思っています。

息子と接するのと同じように、リーダーとしてチームを励まし、メンバーがそれぞれのスキルを統合してより良い仕事ができる機会を提供したいと思っています。新しいプロジェクトに取り組む意欲を高め、成長のために彼らの創造性を活用できるようにしたいというのが私の願いです。



LIXILでのキャリアをめざしている人に一言お願いします。

LIXILは創造力を発揮し、新しいアイデアを形にすることができる場所です。社会やライフスタイルが変化の中で、より健康的でデザイン性に優れた商品が求められており、私たちは常にお客さまの日々の暮らしを向上できるような商品を開発しています。これらはすべて、LIXILのパーパス（存在意義）である「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に繋がっており、私たちは日々の業務を通じて大きな価値と誇りを感じることができています。

“社会やライフスタイルが変化の中で、より健康的でデザイン性に優れた商品が求められており、私たちは常にお客さまの日々の暮らしを向上できるような商品を開発しています。”